

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 29. 5. 31 第 193 回国会第 16 号

5 月 31 日（水）、第 16 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、若宮防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 新 藤 義 孝君（自民）

- ・我が国を取り巻く国際情勢が変化する中で、我が国はどのような外交を展開すべきか。日本外交のミッション及びビジョンについての岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・日米外相電話会談（2017. 5. 29）で両外相は、北朝鮮を抑止するため、防衛態勢と能力の向上を図るべく具体的行動をとることで一致したが、当該具体的行動の方向性について伺いたい。
- ・我が国の領海及び排他的経済水域における海洋調査を効率良く行うために関係閣僚間の連絡調整会議を設置すべきではないか。

### 浜 地 雅 一君（公明）

- ・本年 5 月 29 日にフェドートフ国連薬物・犯罪事務所事務局長が発出した声明の中で、テロ等準備罪の新設を含む組織犯罪処罰法改正案はどのように評価されているか。
- ・我が国企業の海外進出の支援策として、国際商事仲裁を専門に扱う施設を設置することに関する法務省、経済産業省及び外務省の見解を伺いたい。
- ・経済連携協定の見直しの際に、外国弁護士規制の緩和を優先的に交渉すべきではないか。

### 中 川 正 春君（民進）

- ・難民問題への対処に関し、国際社会の中で我が国はどのような役割を果たすべきか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・現在、ミャンマー難民のみが対象となっている我が国における難民の第三国定住受入れについて、対象を拡大すべきではないか。
- ・我が国が外国から人を受け入れる全般的な仕組みの在り方について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

### 原 口 一 博君（民進）

- ・ロシア要人による最近の北方領土問題をめぐる発言によ

ると、同問題の存在を否定するような内容が相次いでいるが、ロシア側にきちんと抗議しているのか。

- ・トランプ米大統領は、タイム誌とのインタビューにおいて、2017年 2 月のマティス国防長官訪日時に米軍が F35 をレーダーに探知されず我が国上空を飛行した旨述べているが、米側に抗議したのか。
- ・外務省は、鳩山総理大臣が普天間飛行場の県外移設を断念するきっかけとなった「米軍の説明」なる文書の存否について監察を実施すべきではないか。

### 渡 辺 周君（民進）

- ・南スーダン日報問題に関する中間報告を含む防衛省による監察結果の公表はいつ頃であり、また、政務三役は監察の進捗状況を把握しているのか。
- ・北方領土で外国人就労が行われているならばロシアとの経済協力を取りやめる必要があるのではないか。
- ・日露経済協力を行うに当たって、北朝鮮出稼ぎ労働者の排除をロシアに確約させる必要があるのではないか。

### 小 熊 慎 司君（民進）

- ・議員が個人で外交活動を行う場合、在外公館からいかなる便宜供与がなされるのか。
- ・国際交流基金の活用を通じて我が国の映像コンテンツを開発途上国に無償で提供し対日理解を促進する取組を強化する必要があるのではないか。
- ・飯倉公館でのレセプションで被災地産品の利用実績が無くなったことについて岸田外務大臣の所見を伺いたい。

### 笠 井 亮君（共産）

- ・普天間飛行場代替施設建設工事の現状についての岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・沖縄防衛局が発注した建設工事に関し、談合疑義のあった対象工事 6 件について、平成 27 年 9 月の入札監視委員会では「必ずしも価格漏えいとは言い切れない」とされているが、その理由を伺いたい。

- ・土木学会等の業界団体の会長を歴任するなど、受注業者と密接にかかわるメンバーで構成される「沖縄防衛局入札監視委員会」では、組織の公正性は確保されないのではないか。

## 足立康史君（維新）

- ・憲法に自衛隊が明記されていないことによる外交上のデメリットは大きいのではないか。
- ・我が国が米国に追従して北朝鮮に敵対的に対応するならば日米軍だけでなく我が国も軍事攻撃の対象となると示唆した北朝鮮外務省報道官談話を政府はどのように受け止めているのか。